

国語科

1 年生

▶ 1年間の授業計画

授業 内 容	1 言葉を楽しむ 2 思いを捉える 3 分かりやすく伝える	4 展開を捉える 5 考えをまとめる 6 伝統文化に親しむ	7 伝え方を考える 8 視点を変える
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ワーク ・便覧 ・漢字ワーク ・eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査 漢字・文法テスト 書写	知識が定着し得点につながっているか。 文字の特徴を捉え、正確に書けているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査・単元テスト 実験レポート・プリント	知識を用いて、応用問題などにも取り組んでいるか。 自分の伝えたいことを効果的に表現し、わかりやすくまとめることができているか。 古典特有のリズムを意識し、声に出して読むことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	プリント等の内容 ノート・ワーク 発表	授業内容をしっかりと記入することができているか。 授業で習った範囲をしっかりと学習できているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、ワークに取り組みましょう。
間違えたところは、書き直しをするようにしましょう。

- 次の授業の内容を教科書で確認し、授業に取り組みましょう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 考査範囲の教科書・ノート、ワークで間違えたところを見直すようにしましょう。
- 文法や漢字など、言語事項を何回も繰り返し、取り組みましょう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 言語事項を中心に、間違えたところの復習をしましょう。

社会科

1 年生

▶ 1年間の授業計画

授業内容	・地理 第1部 世界と日本の地域機構 第2部 第1章 人々の生活と環境 ・歴史 第1章 歴史のとらえ方と調べ方 第2章 古代国家の成立と東アジア	・地理 第2章 世界の諸地域 ・歴史 第3章 武家政権の成長と東アジア	・地理 第2章 世界の諸地域 ・歴史 第4章 1節大航海によって結び付く世界 第4章 2節戦乱から全国統一へ
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ワーク(地理・歴史) ・eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査、小テスト 授業プリント	基礎知識の定着等の基本的な取り組み姿勢を評価する。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 授業プリント	基礎知識を生かした応用(グラフや資料の読み取り方)やレポート内容など表現する力も評価する。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 授業プリント ワークなどの提出物への取り組み	授業プリントの記入内容や授業で習った範囲の復習等、学習へ主体的に取り組んでいるかを評価する。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、ノートをまとめるときに自分のわからない単語や語句、事象などを調べてみよう。
- ワークを復習に活用しよう。授業が終わったら習ったところに取り組むようにしてみよう。
- 次の授業の内容を、教科書で見てから授業に取り組んでみよう。
- **分からないことをそのままほったらかしにせず、早く解決できるようにしよう。**

▶ 考査前の学習ポイント

- 出題範囲を正しく理解し、**教科書の太字を中心に確認**しておこう。
- 出題範囲のワークを**何回も繰り返し**取り組むようにしてみよう。
- 出題範囲に分からない点がない状態にしておこう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 考査問題(解答)は捨てない。ファイル保存おすすめです。
- 間違えた問題は見直すようにしよう。

数学科

1 年生

▶ 1年間の授業計画

授 業 内 容	1章 正負の数 2章 文字と式	3章 1次方程式 4章 比例と反比例 5章 平面図形	6章 空間図形 7章 データの活用
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

ワーク、eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査、小テスト 授業での取り組み	基礎・基本の知識・技能を習得し、 定着しているか。 課題への取り組み。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査、小テスト 授業での取り組み	基礎・基本を活用し、数学的な考え 方が身についているか。 課題の記述内容が数学的思考・判 断・表現を活かしたものか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 授業への取り組み プリント・ワークなどの提 出・理解状況	興味・関心をもって、授業に取り組 んでいるか。 計画的に学習に取り組み、課題が提 出されているか。

▶ 家庭学習のポイント

- その日に学習した内容を教科書や授業プリントを見て、確認する。
- 課題やワークを使って、学習した範囲の問題に取り組む。
- 授業の進度にあわせてワークを進めておく。

▶ 考査前の学習ポイント

- 授業で配付されたプリントやワークの間違った問題をもう一度やり直す。
- 分からない問題は、先生や友だちに解き方を質問して、解けるようにしておく。
- eライブラリを活用して、自分にあった課題に取り組む。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト用紙はファイルし、間違えた問題をやり直して、考え方を理解する。

▶ 1年間の授業計画

授 業 内 容	いろいろな生物とその共通点		
	身のまわりの物質		
		光・音・力による現象	
			活きている地球
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材 ・ワーク ・理科便覧 ・eライブラリ

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査・単元テスト ミニテスト・ワーク 実験活動・実験レポート	知識が定着し得点につながっているか。 実験操作を積極的に、かつ指示を聞きながら行動できているか。その操作が身についているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査・単元テスト 実験レポート・プリント	知識を用いて、応用問題などにも取り組んでいるか。実験の考察をより深く書くことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	プリント・ワーク ミニテスト 授業での班活動や発表など	授業内容をしっかりと記入し、目標に対し、振り返ることができているか。疑問をもち、進んで調べているか。出題範囲をしっかりと学習しているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、プリントにまとめるときにわからない単語や語句、事象などを調べてみよう。また、身近な事との関連を考えてみよう。
- ワークやeライブラリを活用しよう。授業が終わったら復習しよう。
- 次の授業の内容を、見てから授業に取り組んでみよう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 範囲内の実験に内容はしっかり見よう（操作方法、操作の意味も含めて）
- 公式はしっかり覚え、どんな風に公式を当てはめるのか確認しよう。
- 重要単語は意味が説明できるように見直しておこう。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト直しを行い、計算問題は必ず解き直しをしよう。
解き直ししてつまづいたところは聞き直して自分の力で解けるようにしよう。

音楽科

1 年生

▶ 1年間の授業計画

授業内容	・校歌 ・主は冷たい土の中に ・ジョーズ ・春 など	・音楽コンサート合唱曲 ・オーケストラの学習 ・リズム・メロディ創作 など	・雅楽 ・魔王 ・箏「さくらさくら」 など
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

・ワーク

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	各テスト・実技テスト・レポート ワークシート・実音テストなど	・知識が定着し、得点につながっているか。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 歌唱・器楽・創作の技能を身につけられているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	各テスト・レポート・実音テスト ワークシートなど	・音楽表現を創意工夫し、音楽を自分なりに評価し ながらよさや美しさを味わって聴くことができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	各テスト・レポート・ワークシート 授業に取り組む姿勢等	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組むことが できているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業内で配られたプリントを確認しておきましょう。
- ワークの問題を解いて、間違えたところは復習しておきましょう。
- 次の授業の内容を確認してから授業に取り組みましょう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 授業内で配られたプリントを確認しておきましょう。
- ワークの問題を解いて、間違えたところは復習しておきましょう。
- 実技テストは日ごろから言われているポイントを忘れずに挑みましょう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えたところは何度も復習をしましょう。

美術

科

1

年生

▶ 1年間の授業計画

授業内容	・うつくしい！主題の見つけ方 ・美術の扉を開こう 発想の仕方 ・4人の宇宙人との出会い - 切り絵からの発想 - 情報のinputとoutput - ・4人の宇宙人の住む惑星を描く - デザイン（計画）、グループワーク、発表会 ・見つめ、感じ取り、描く 大きな筆で描く ・「ムーラン・ド・ギャレットの舞踏場を観賞しよう」 ・その人らしさを捉える	・「火焰型土器」を鑑賞しよう 焼き窯 ・生活の中の焼き物 ・暮らしを彩る文様 ・文字で楽しく伝える ・材料に命を吹き込む モダンテクニック図鑑 ・「風神・雷神像」と「風神雷神図屏風」を観賞しよう ・琳派	・世界の仮面と出会う ・仮面で変身！植物カーニバル-植物からの発想- ・構成美
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材 教科書、資料集、美術プリントファイル

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	期末考査 (筆記・実技)、 制作作品、 美術プリントファイル など	◇形や色彩などの性質や感情にもたらす効果を理解して、創意工夫し見通しをもって表現する技能を身に付けているか。 ◇形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解しているか。 ◇材料の性質や道具を利用し、効果的に造形づくりや着彩を行っているか。形、色彩、材料の性質や質感、使われている技法を理解し、作品への効果を読み取り、自身の制作に実践して生かすことができるか。 ◇材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表しているか。 ◇材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表しているか。 ◇造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	期末考査 (筆記・実技)、 制作作品、 美術プリントファイル など	◇目や頭や手（造形的なものの見方）について理解しているか。（目と頭と手を双方向に活用させて色や形を捉えている） ◇対象や事象（できごと）を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っているか。〔自分にとってのリアリティ（自分にとってかけがえのないもの・ことを見つけ大切にしている）〕 ◇構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っているか。 ◇伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているか。 ◇使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っているか。 ◇目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げているか。 ◇造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げているか。 ◇身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げているか。 ◇身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	ふり返しシート、 美術プリントファイル など	◇めあてに応じて、自分の制作のうまくいったこと、頑張ったこと、難しかったこと、次に気をつけたいことを自己省察できているか。 ◇自分なりの造形言語を獲得しているか。 ◇自らよく考え、思考の過程が見えているか。 ◇自らの学習過程に目を向けて調整しようとしているか。 ◇自身の作品制作や鑑賞に粘り強く取り組んでいるか。 ◇課題の期限を守り提出しているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認 ○気になった内容を調べてみる（GIGA端末の活用）
- 心や感性を通した事物事象（できごと）との関わりを大切にする（例えば美術館で作品と出会う、家族や友人との時間、日常）

▶ 考査前の学習ポイント

- 教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認 ○美術プリントファイルの整理（期末考査後提出あり）

▶ 考査後の学習ポイント

- 期末考査のふり返し、教科書や資料集、ふり返しシート、美術プリントファイルの確認

保健体育

科

1

年生

▶ 1年間の授業計画

授業内容	・体づくり運動 ・球技(ネット)型 ・水泳 ・保健、体育理論	・陸上競技 ・球技(ゴール型) ・武道 ・器械運動 ・保健、体育理論	・球技(ベースボール型) ・現代的なリズムのダンス ・保健、体育理論
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材 体育実技、体育ノート、保健教科書、保健ワーク

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	・定期考査 ・技能テスト ・保健プリント	◇形や色彩などの性質や感情にもたらす効果を理解して、創意工夫し見通しをもって表現する技能を身に付けているか ◇形や色彩、材料、光などの性質や、それらが
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	・定期考査 ・ノート（課題振り返り、解決への考え方） ・ワーク課題 ・授業目標への姿勢、取り組み	・自己や仲間の課題を発見しているかどうか。 ・科学的な知識や技能を学習場面に適用したり応用しているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	・定期考査 ・課題解決への姿勢、取り組み	・仲間と助け合ったり教え合ったりするなどしているか。 ・話し合いなどで自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れているか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容を理解するため、技術の名称やその行い方をイメージしたり、実践しよう。
- ワークを復習に活用しよう。授業が終わったら習ったところをしてみよう。
- 次の授業の内容を、見てから授業に取り組んでみよう。

▶ 考査前の学習ポイント

- 範囲内の内容はしっかり見よう。
- 保健分野では特に実生活に結びつけて考えよう。

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えたところは解きなおして、理解できるようにしよう。

技術科

1 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業 内 容	・技術のガイダンス ・材料と加工の技術	・製図の知識 ・強い構造について ・木材加工（作品制作）	・木材加工（作品制作） ・製作の振り返り
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

- ・教科書

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・知識が定着し、得点につながっているか ・作品づくり等を通して技能が身についているか
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・知識を用いて生活をよりよくする方法を考 えることができるか ・考えた内容をわかりやすく表現することが できるか
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・発表ノートなど	・実習に意欲的に取り組んでいるか ・レポートや授業プリント・発表ノートにき ちんと取り組んでいるか

▶ 家庭学習のポイント

- 授業で習得した技能を家庭で実践する
- 授業で使ったプリントを見直してみる
- 授業で気になったことを調べてみる

▶ 考査前の学習ポイント

- 教科書や配布されたプリントを中心に学習する
- 授業で使ったプリントをきちんと整理しておく

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えた問題を復習しておく

家庭科

1 年生

▶ 1 年間の授業計画

授業内容	・家族・家庭と地域 ・衣服の洗濯と手入れ ・被服実習	・生活を豊かにするため ・被服実習	・住まいの役割と安全な 住まい方
	1学期	2学期	3学期

▶ 使用教材

教科書・家庭科ワーク・ノート

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・ワーク など	・知識が定着し、得点につながっているか ・裁縫の技能が身についているか
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査・単元テスト 実験レポート・プリント	・知識を用いて生活をよりよくする方法を考 えることができるか ・考えた内容をわかりやすく表現することが できるか
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	定期テスト・製作物・実技テスト レポート・授業プリント・ワーク など	・実習に意欲的に取り組んでいるか ・レポートやワークにきちんと取り組んでいるか

▶ 家庭学習のポイント

- 授業で習得した技能を家庭で実践する
- ワークノートの空欄の部分を記入する
- 気になった内容を調べてみる

▶ 考査前の学習ポイント

- ワークとプリントを中心に学習する
- 教科書の太字部分を確認する

▶ 考査後の学習ポイント

- 間違えた問題を復習しましょう

英語 科

1 年生

▶ 1 年間の授業計画

授 業 内 容	be動詞・一般動詞 助動詞can 疑問詞	3人称単数現在 命令文 現在進行形 to不定詞	過去形 過去進行形 There is/are ～.
	1学期	2学期	3学期

※進度により変更する可能性があります。

▶ 使用教材 eライブラリ、はば単

▶ 観点別評価

	評価の資料	評価のポイント
観点Ⅰ (知識・技能)	考査・単元テスト ミニテスト・ワーク 実験活動・実験レポート	知識が定着し得点につながっているか。 学習した内容を理解しているか。 学習した内容を使うことができるか。
観点Ⅱ (思考・判断・表現)	考査 単元テスト 小テスト パフォーマンステスト	知識を用いて、応用問題などにも取り組んでいるか。 英文を理解することができているか。
観点Ⅲ (主体的に学習に取り組む態度)	考査 単元テスト 小テスト パフォーマンステスト 授業や課題の取り組み状況	主体的・協同的に学習に取り組んでいるか。 各Lessonごとの学習内容にきちんと取り組んでいるか。

▶ 家庭学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと復習するため、教科書やノート、授業で使ったプリントを見直し、わからない語句や表現などを調べよう。
- eライブラリを復習に活用しよう。授業が終わったら、習った範囲の箇所に取り組もう。
- 分からない単語や語句は必ず調べる。

▶ 考査前の学習ポイント

- 範囲内のノートやeライブラリを振り返り、繰り返し解いてすべて理解しよう。
- 新出語句と文法をしっかりと覚え、使い方を確認しておこう。
- 分からない箇所は友人や先生に聞く。

▶ 考査後の学習ポイント

- テスト用紙はファイルし、間違えた問題のやり直しをしよう。解き直してつまづいたところは聞き直し、自分の力で解けるようにしよう。

道徳科

全学年

▶ 1 年間の授業計画

- ・年間を通して、22の内容項目をA～Dの4つの視点に分けて履修します。

▶ 4つの視点と内容項目

A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること
・ 自主、自律、自由と責任 ・ 節度、節制 ・ 向上心、個性の伸長 ・ 希望と勇気、努力と強い意志 ・ 真理の探究、創造	・ 思いやり、感謝 ・ 礼儀 ・ 友情、信頼 ・ 相互理解、寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
・ 遵法精神、公德心 ・ 公正、公平、社会主義 ・ 社会参画、公共の精神 ・ 勤労 ・ 家族愛、家庭生活の充実 ・ よりよい学校生活、集団生活の充実 ・ 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 ・ 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 ・ 国際理解、国際親善	・ 生命の尊さ ・ 自然愛護 ・ 感動、畏敬の念 ・ よりよく生きる喜び

▶ 使用教材

- ・ 幸せ運ぼう
- ・ 心かがやく

▶ 評価

- ・ 1年間の取り組みを個人内評価として見とり、年度末に記述による評価をする。

評価の資料	評価のポイント
授業内の発表 ワークシート 作文やレポートなどの記録物 スピーチやプレゼンテーションなどの実演 振り返り	授業で学んだことを自分の中で深めようとしているか。 自分の中で成長を実感できているか。 他者の考えを知る中で、自分の考えを発展させることができているか。

▶ 家庭学習のポイント

- あいさつや礼儀など、授業で習ったことを日常生活でも意識しよう。
- 普段から、周りの人を思いやる発言・行動をしよう。